

単元を貫く言語活動 その1

これまでうまくいっていた方法で、授業を行ってはいけないの？



単元を貫く言語活動が、どのように授業改善につながるのか、よく分からないわ。



このような声を聞くことがよくあります。なぜ、単元を貫く言語活動が授業改善において重要なのかを、まず考えてみましょう。

国語科の特質から

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が、単位時間の中で**一体**となり学習を行う。
- 「螺旋的」「反復的」に学習しなければ、なかなか学力が定着しない。
- 単元を貫く言語活動を意識しないで授業を行うと、国語が得意でない子は・・・

がんばったのに、授業で何を勉強したのか分からないな・・・



他教科では

社会科 調査や資料を中心とした問題解決型学習
数学科 単位時間における問題解決型学習
理科 観察や実験を軸とした問題解決型学習



児童生徒は、単元や単位時間の**課題意識**を明確にもち、**意欲的に**学習に取り組むことができる。

そこで

国語科では

単元を貫く言語活動

を位置付けた学習を行う。



今、求められている学力（学習指導要領）から



国語科の目標

（小学校）

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を**養い**、国語に対する**関心**を深め国語を尊重する態度を育てる。

（中学校）

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を**養い**言語感覚を**豊かにし**、国語に対する**認識**を深め国語を尊重する態度を育てる。

今、求められていること

思考力・判断力・表現力等の育成
生きて働くことばの力の育成

学習指導要領が改訂

→ 小学校で4年、中学校で3年が経過

これまでの指導方法から
ステップアップ

積み重ねてきた経験
を生かしながら、指導方法の改善を行う。

単元を貫く言語活動

を取り入れることが、授業の改善につながる。



- 指導事項等の確実な定着につながる。
- 思考力・判断力・表現力等が伴う学びにつながる。
- 習得と活用を意識した単元構成ができる。
- 児童・生徒主体の授業にすることができる。

今回は、「単元を貫く言語活動」をどのように考え、単元計画を構想すればよいかについて、具体的に説明します。

